

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ有効成分を含有し、同様の効能・効果を有した医薬品(図1)で、先発医薬品の有効性や安全性などの知見を活用して製造できることから、低価格で提供されています。

ジェネリック医薬品のメリットは2つあり

ジェネリック医薬品を使っていますか 医療費全体の効率化への期待



2つ目は安価であることです。医薬品の開発には10年以上の時間と数百億〜数千億円規模の費用が必要ですが、ジェネリック医薬品は開発にかかる時間や費用を抑えられるため、価格は低く設定されています。

一方で、ジェネリック医薬品のデメリットも2つあります。1つ目は、特許の関係で製造方法や添加物が異なっている場合、使用感、効き目、副作用が異なる可能性があることです。

2つ目は供給が不安定なことです。ジェネリック医薬品製造会社の品質管理などの不正

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ有効成分を含有し、同様の効能・効果を有した医薬品(図1)で、先発医薬品の有効性や安全性などの知見を活用して製造できることから、低価格で提供されています。

ジェネリック医薬品のメリットは2つあり

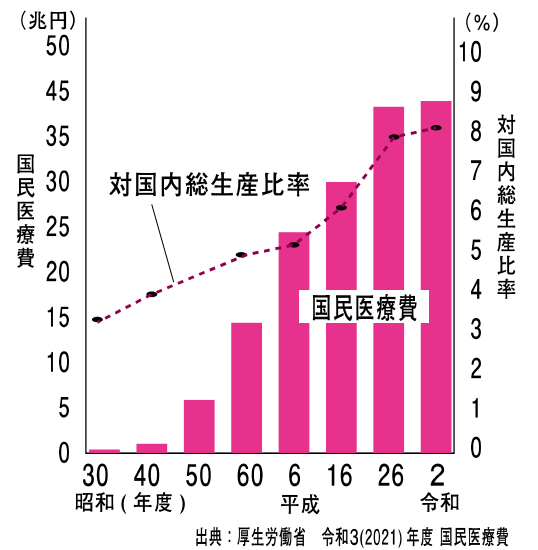
まず、1つ目は、製剤として工夫されていることです。味やにおいを良くする、ゼリー状や唾液でとけるシート状にするなどして飲みやすく改良しています。また、目への刺激を改良した目薬なども一例として挙げられます(図2)。

2つ目は安価であることです。医薬品の開発には10年以上の時間と数百億〜数千億円規模の費用が必要ですが、ジェネリック医薬品は開発にかかる時間や費用を抑えられるため、価格は低く設定されています。

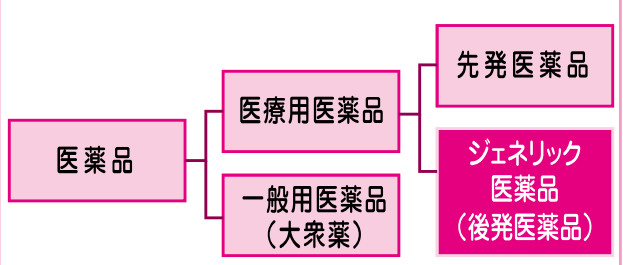
一方で、ジェネリック医薬品のデメリットも2つあります。1つ目は、特許の関係で製造方法や添加物が異なっている場合、使用感、効き目、副作用が異なる可能性があることです。

2つ目は供給が不安定なことです。ジェネリック医薬品製造会社の品質管理などの不正

増え続ける国民医療費



ジェネリック医薬品とは(図1)



ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ有効成分を含有し、同様の効能・効果を有した医薬品(図1)で、先発医薬品の有効性や安全性などの知見を活用して製造できることから、低価格で提供されています。

ジェネリック医薬品のメリットは2つあり

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ有効成分を含有し、同様の効能・効果を有した医薬品(図1)で、先発医薬品の有効性や安全性などの知見を活用して製造できることから、低価格で提供されています。

ジェネリック医薬品のメリットは2つあり

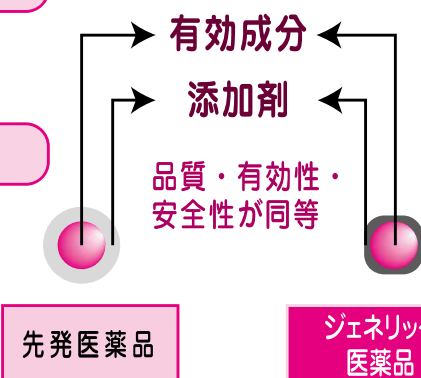
ジェネリック医薬品と先発医薬品の違い(図2)

同じでなければならないところ

有効成分の種類・量

違ってよいところ

形や大きさ
色
味
添加剤 など

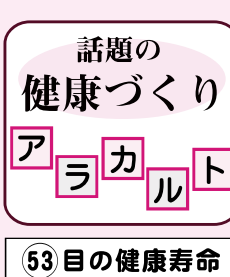


部を患者の自己負担とすることも検討されており、ジェネリック医薬品使用促進の流れは続々見込みです。

(健康科学センター 加藤睦子)

アイフレイルを知っていますか 早期発見で予防や治療を

目が疲れやすい。暗くなると見えにくい。さまざまな目の不調を年のせいと軽視していませんか。もしかしたら、「アイフレイル」かもしれません。



アイの場合、目の酷使を避ける・眼鏡・点眼・温罨(おんあん)法などが改善方法です。温罨(おんあん)法は、スーパーなどで購入できる眼用温熱マスクをまぶたに当てることで、マイボーム腺機能(涙が乾かないよう油を分泌する機能)や眼精疲労の改善に効果的です。



「アイフレイル」とは“加齢により衰えにさまざまな外的ストレスが加わることで、目が機能低下した状態、またはそのリスクが高い状態”です。早期発見で、予防や治療、症状緩和が可能です。

まず、下表 10 問のアイフレイル自己チェックをしてみましょう。該当項目が 2 つ以上ある人は、アイフレイルかもしれません。

改善方法は原因によってさまざまです。幅広い年齢で訴えが多いドラ

アイフレイル 自己チェック

- ①目が疲れやすくなった
- ②夕方になると見えにくくなることもある
- ③新聞や本を長時間見ることが少なくなった
- ④食事の時にテーブルを汚すことがある
- ⑤眼鏡をかけてもよく見えないと感じることが多くなった
- ⑥まぶしく感じやすい
- ⑦まばたきしないとほっきり見えないことがある
- ⑧まっすぐの線が波打って見えることがある
- ⑨段差や階段が危ないと感じたことがある
- ⑩信号や道路標識を見落としたことがある

出典：アイフレイル啓発公式サイト

(健康支援課 中田 真理子)

うれしいことがあると不快な症状が軽くなることは、誰でも経験したことがあると思います。ところが、西洋医学は心と体は別のモノという考え方で発展してきたため、現代医学では心と体のつながりを学びません。

それにもかかわらず、薬の効果の判定時には心理的な暗示により偽薬で症状が改善する人が約 3 割もいるとして、プラセボ効果を考慮しています。これはまさに心と体がつながっている証拠だと思えます。



心は病を作り、治す 信じる者は救われる



一方、漢方では心と体は強く影響し合うという心身一如(しんしんいちによ)という考え方があります。漢方では、「気」という生命エネルギーのようなものが乱れることが病気と考えます。喜、怒、憂、思、悲、恐、驚という七情(しちじょう)は、気に影響を与え、怒ると気が逆上する、驚いて気が動転するなど、感情と気の関

係は日本語の中にも残っています。感情が強すぎたり長く続いたりすると病気になるとしています。

現在、気は最先端の物理学である量子力学により解明が進められています。気を解明していくと、科学の常識に反する部分があり、現代医学の常識を根底から覆す可能性もあるといわれています。

漢方薬は、人間の自然治癒力を高める手伝いをしているだけで、治しているのは患者さん自身だと思っています。時々患者さんから、話を聞いてもらった気分が楽になって症状も軽くなった、と言われることがあります。

人間は、自分の心の持ち方を変えるだけで、「気」を整え、体調を回復させる力があると実感しています。

(健康科学センター 診療所長 武生 英一郎)